

五十八野清一 抄 小説家。明治二十五年二月二十八日山形縣生乳  
昭和四十一年六月二十五日歿（九〇一六六）。筆名伏見伸一、來多武六  
等。

著書『農民―新生を胎む上』（大正十五年四月五日草原社）、『豪商  
蓄財術物語』（來多武六名、昭和七年十月二十日誠文堂）、『非常時  
の日本と北支・滿洲―附滿洲農業移住の手引』（同、昭和八年四月  
十日國民經濟研究會）、『われらの成果―新銳傑作十七人集』（合著  
昭和九年十月二十日二書房）、『戦陣中（六〇）』（編、昭和十四  
年六月二十日金星堂）、『船といくさ』（昭和十七年一月五日教養  
社）、『大地主』（昭和十七年十一月十五日國文社）、『大陸の明星  
あしき』（昭和十八年四月二十日昭森社）、『上杉鷹山八人の人間愛』  
（昭和十八年六月十五日大鵬社）、『明治新法民動皇史話』（昭和十八  
年六月二十日亞細亞書房）、『庄内平野の開拓者本間光丘』（昭和十八年十  
月二十日日本出版社『近世日本農業偉人傳』）、『長瀬ゆたけ』（昭  
和十九年二月一日東榮社）、『瀧國の山河』（昭和十九年四月十八日  
隆文社）、『性愛二部作』（3）『新結婚物語』（昭和二十一年五月、1  
『新戀愛物語』八月五日、2）『新真探物語』十一月十日NEW・L  
FEE社）、『「業」の心』（昭和二十二年九月一日青朗社『書下  
長篇選書』）、少年野 球山編『輝く熱球』（昭和二十二年十一月十五日まひ  
る書房『まひる少年少女文庫撰』）、『艶筆好代男諸艶士入鑑』（昭和  
二十一年十一月十日又芸評論社『艶筆文庫』）、『勝負師物語』（昭  
和二十二年十一月十日積文館）、『冥冥の生きた魂』（細野孝一 聯合  
會、昭和二十二年四月十日泰光堂）、『正力松太郎―プロ野球の父』

(昭和四十一年十一月十七日鶴書房)等。